

場所:ニッセイエプロ株式会社 会議室

第1回目は主にコミュニケーションに関わる同業社8社15名のご参加により開催。はじめに主催者挨拶として部会長の石川(FSI理事)より、本業種交流会開催の経緯が述べられました。「サステナビリティ創造研究学会(以下、FSI)の専門部会であるサステナブル・コミュニケーション部会として法人会員であられる共立速記印刷株式会社様と昨年より毎月、定例ミーティングを開催、ビジネスになりうる異業種交流の機会からスタートしようとの結論に達しました。現在、我々を取り巻く環境が厳しいことは言うまでもありません。しかしながら今後は多様な業種の皆様と交流しながら、開催していきたいと考えています。サステナビリティを推進するには中小企業の盛り上がりが必要不可欠であると考えます。この場のサステナビリティが、皆様にとってWIN×WINなる価値を創造できることを目指していきたいと思っています」



▲カーボンオフセット・プリンティング パンフレット

参加者による、自己紹介の後、今回は株式会社 アイカ 渡邊常務より、自社のサステナビリティに向けた取り組みを紹介いただきました。http://printing-aika.com/ 「株式会社 アイカは印刷会社として名古屋を中心に業務を展開して来た。全メーカーの印刷機を保有し、顧客企業の多種ニーズに対応しています。

最近では東京へ進出すべく、特に環境配慮の商材・サービスに注力、社団法人 日本印刷産業連合会が認定する『グリーンプリンティング工場』にもなっております。また以前より、FSC森林認証マーク、ベジタブルオイルインクマーク、そして大量の水を使わず、有機溶剤も排出しない画期的な技術である『水なし印刷/バタフライマーク』も導入済です。

現在では、この水なし印刷による「カーボンオフセット印刷」のサービスも開始。印刷における「カーボンオフセット」での引き合いは少ないが、付加価値ある企画提案を通して採用される事例も出ている。

その他、差別化戦略のため、いくつかの商材を紹介する意味で商材紹介のツールを持参しましたのでご参考ください。

今後、環境に配慮した印刷需要はさらに増えてくると思われる。今回のような機会を今後も大事にしていきたいと考えます。」

その後、会費制による懇親会に移る。共立速記印刷株式会社 笹井取締役の音頭により乾杯の後、参加者は名刺交換の場となり、情報交換等有意義な場となりました。

